

# 本校教育方針

## 1 教育方針

わたしたちは少人数のよさを生かし、子ども一人一人を大切にされた教育活動を展開することで「生きる力」の育成を基本とした明(知)・誠(徳)・健(体)の調和のとれた、心身ともに健やかで、たくましく生きる力を身につけた子どもの育成を目指す。

そのために組織の一員である教職員一人一人が自覚と責任を持ち、報告・連絡・相談を密に行い全職員で共通理解したことを確実に実行できるようにする。そして一人一人の子どもの成長を教師自身の喜びとして共有できるようにしたい。また、指導に当たっては凡事徹底を図ることが大切である。当たり前のことをやり続けられるようになったときに本物の力(「生きる力」)となる。基礎・基本の徹底なくして活用力を身につけさせることはできない。わたしたちは子どもたちに人としての土台を築いてあげられる教師集団でありたい。同時に子どもたち一人一人が夢やあこがれを現実のものとしてできるような支援者でありたい。

### ○ 校訓

**【明】 明るく**  
明朗で物事の道理をよく理解し行動できる人間の育成を目指す。何事にも前向きの心を忘れず、目指す心を持って努力できる子どもであって欲しい。

**【誠】 正しく**  
常に誠実さを持って生きる正しい人間の育成を目指す。いつも人の話に耳を傾け、自分を律する謙虚な姿勢を大事にできる子どもであって欲しい。

**【健】 たくましく**  
心身ともに健康で物事に真剣に向き合い行動できる人間の育成を目指す。物事を最後まで粘り強くやり遂げられる子どもであって欲しい。

### ○ 学校教育目標

明るく誠実で何事も最後までやり抜く子どもの育成

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 笑顔があふれる活力のある学校</li><li>○ 清掃が行き届いたきれいな学校</li><li>○ 家庭や地域から信頼される学校</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ すすんで学ぶ子</li><li>○ 思いあう子</li><li>○ 元気な子</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 子どもとともに学び成長する教師</li><li>○ 子どもの心が見える教師</li><li>○ 地域を知り、そのよさを教育に生かす教師</li></ul>

## 2 具体的な努力目標

### ① 学力の向上と個への対応

- 言語活動の充実を図ることでわかる授業づくりに向けた指導の工夫・改善に取り組む。
- 「学習の基本的なしつけ」を指導し、学び方の基礎を育成する。
- 「はまっ子 学びの習慣化にむけて」の活用と充実を図る。
- 個別指導、机間指導の充実に努める。

## ② 道徳的実践力の育成

- ◎ 目標を持たせることで意欲と向上心を育てる。
- 「ありがとう」と言える感謝の気持ちを育てる。
- 「命を大切に作る心」とともに「他を思いやる心」を育てる。
- 自然体験・社会体験などの体験活動を積極的に取り入れ達成感・成就感を味わわせる。

## ③ 基本的生活習慣の確立

- ◎ 元気で気持ちのよい返事とあいさつができる子どもを育てる。  
(いつでも、どこでも、誰にでも)
- 学校の約束「はまっ子の一日」を徹底させる。(「はまっ子の合い言葉」)
- 安全に気をつけ、落ち着きのある生活ができるようにする。
- ものを大切に作る気持ち・態度を育てる。

## ④ 体力の向上と健康安全指導の強化

- ◎ 健やかな子どもを育成する健康教育を推進する。(早寝・早起き・朝ごはん)
- はまっ子マラソンやはまっ子ジャンプなど体力づくりに目標を持って取り組ませる。
- 歯と口の健康・むし歯予防を推進する。(手洗い・うがいの習慣化)
- 食育指導の充実に努める。

## ⑤ 特別支援教育の充実

- ◎ 子どもの個性を生かしたきめ細かな指導に努める。(個別指導計画の作成)
- 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図る。
- 家庭や専門機関との連携を図り、子どものニーズにあった適切な支援に努める。

## ⑥ 少人数指導の研究

- ◎ 少人数のよさを生かした効果的な指導方法について工夫改善を図る。
- 「複式指導」と少人数における「教えて考えさせる授業」を校内研修に位置づけ、表現力、思考力の育成に努める。

## ⑦ 教育環境の整備充実

- ◎ 花いっぱい運動に取り組む。(情操教育)
- 無言清掃に取り組ませる。(教師の点検と評価及び指導)
- 教室をはじめ校舎内外の整備に努める。
- 掲示スペースを有効に活用し掲示教育の充実に努める。

## ⑧ 学校・家庭・地域との連携

- ◎ 各種たよりの内容の充実を図るとともに授業参観における授業を工夫する。
- P T A 活動への協力と地域行事に積極的に参加する。
- 家庭訪問や懇談会などにより、保護者との情報の共有に努める。
- 小中の連携を深めることで課題の共有化を図り課題解決に努める。
- 家庭での学習の習慣化を図る。(家庭での読書、学習時間の徹底)
- 家庭や地域・中学校・関係機関と連携した実践に取り組む。(授業公開、外部人材の活用、地域との連携)